

2026年8月

お得意様 各位

発 売 元 湧永製薬株式会社

製造販売元 松浦薬業株式会社

一般用医薬品「ピュアドリップ葛根湯」の「使用上の注意」改訂のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊社製品につきましては格別のご高配を賜りまして有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、2026年8月25日付厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知に基づき、下記品目の「使用上の注意」を改訂致しますのでご案内申し上げます。

今回の改訂内容に関して、ご販売の際にはお客様へお知らせくださいますようお願い申し上げます。

弊社では今後とも医薬品の有効性・安全性に関する情報伝達に努めてまいり所存ですので、お得意様各位におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 該当製品：ピュアドリップ葛根湯

2. 改訂内容：「使用上の注意」の「相談すること」の2. の項に以下の下線部を追加いたします。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
多形紅斑	皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。

以上

※裏面に改訂後の「使用上の注意」全文が記載されておりますので、併せてご覧ください。



●使用上の注意●



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸の弱い人。
 - (5) 発汗傾向の著しい人。
 - (6) 高齢者。
 - (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8) 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難
 - (9) 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
多形紅斑	<u>皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。</u>

3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

改訂前	改訂後																										
	* 2026 年 8 月改訂																										
 使用上の注意  相談すること 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。 (4) 胃腸の弱い人。 (5) 発汗傾向の著しい人。 (6) 高齢者。 (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。 (8) 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難 (9) 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 <table border="1"> <tr> <th>関係部位</th><th>症状</th></tr> <tr> <td>皮膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr> <tr> <td>消化器</td><td>吐き気、食欲不振、胃部不快感</td></tr> </table> まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。 <table border="1"> <tr> <th>症状の名称</th><th>症状</th></tr> <tr> <td>偽アルドステロン症、ミオパチー</td><td>手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。</td></tr> <tr> <td>肝機能障害</td><td>発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。</td></tr> </table> 3. 1 ヲ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には 5 ～ 6 回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。	関係部位	症状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ	消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感	症状の名称	症状	偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。	 使用上の注意  相談すること 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。 (4) 胃腸の弱い人。 (5) 発汗傾向の著しい人。 (6) 高齢者。 (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。 (8) 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難 (9) 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 <table border="1"> <tr> <th>関係部位</th><th>症状</th></tr> <tr> <td>皮膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr> <tr> <td>消化器</td><td>吐き気、食欲不振、胃部不快感</td></tr> </table> まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。 <table border="1"> <tr> <th>症状の名称</th><th>症状</th></tr> <tr> <td>偽アルドステロン症、ミオパチー</td><td>手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。</td></tr> <tr> <td>肝機能障害</td><td>発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。</td></tr> <tr> <td>* <u>多形紅斑</u></td><td><u>皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。</u></td></tr> </table> 3. 1 ヲ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には 5 ～ 6 回)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。	関係部位	症状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ	消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感	症状の名称	症状	偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。	* <u>多形紅斑</u>	<u>皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。</u>
関係部位	症状																										
皮膚	発疹・発赤、かゆみ																										
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感																										
症状の名称	症状																										
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。																										
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。																										
関係部位	症状																										
皮膚	発疹・発赤、かゆみ																										
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感																										
症状の名称	症状																										
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。																										
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。																										
* <u>多形紅斑</u>	<u>皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。</u>																										